

## 3 体毛の脱毛

有川スキンクリニック副院長

有川公三

ARIKAWA Kozo

### 1 はじめに

近年、SNSの発達により一般の人であっても容易に世界中の他人の情報を得ることができ、交流ができるようになった。見た目やジェンダー、性的指向など個人の多様性が認知される世となり、その影響か、男性の体毛に関する治療の希望は年々増加している。当院では女性の脱毛と異なり、完全に脱毛する施術のほか、軟毛化や疎毛化<sup>1,2)</sup>など、毛質を変える有川式軟毛化術<sup>®</sup>を行い患者の要望に応じている。

### 2 男性に多い脱毛部位

当院の脱毛治療はカウンセリングから施術、経過観察までを医師が行っている。1日の治療人数に限られるため、年間の脱毛件数は他のクリニックよりかなり少ないと思われる。脱毛と軟毛化術、疎毛化術を組み合わせる理由から、男性患者はほとんど他クリニックから紹介された脱毛が困難な症例で占められている。2019年の1年間の脱毛件数は876件で、そのうち男性の脱毛患者は66件であった。男性患者の実人数は23例で、1人あたりの脱毛部位は1～13部位、平均3部位であった。その内訳は上口唇、下口唇、頬各9例(各13%)、大腿4例(6%)、前腕、下腿、手指、手背、足指、腋窩各3例(各4%)、前頸部、胸部、腹部、足背、耳、鼻、眉毛、Vラインは各2例(各3%)、うなじ、乳輪、上腕、臀部、Iライン、膝、もみあげ各1例(各1%)であった。

### 3 脱毛の開始理由

上下口唇、頬、前頸部の脱毛に関しては、剃刀負けで皮膚炎や毛囊炎をくり返すため肌質の改善に加え、手入れにかかる時間と手間の短縮を望む人が多い。そのほかの部位は、見た目の改善、パートナーや他人に不快感を与えたくないなど、衛生的理由である。趣味でスポーツやダンス、ヨガをしている人は皮膚の露出が多いし、料理人や接客業、医療従事者にとっては顔、手など相手に不快感を与えない、衛生的な見た目は重要である。

### 4 使用機器

当院では三世代目となるソプラノアイス・プラチナムを使用している。755nm、810nm、1,064nmの3波長を同時照射し、10Hzで照射する蓄熱式脱毛(super hair removal ; SHR)と、単発照射のメラニン選択式脱毛(hair removal ; HR)の2つのモードで施術ができる機器である。また直径5mmの光ファイバーから成るフェイシャルチップ(facial tip ; FT)をハンドピース先端部分に装着すると眉毛、鼻毛、耳毛など立体的で細かい部位の照射も可能である。

### 5 カウンセリング時の注意

髭、口唇周囲は施術回数、時間を多く要し、**図1, 2**のように施術経過中にまばらに抜けることを伝える。仕上がりについては、完全に脱毛するか、軟毛化するか、疎毛化するかは本人の希望に沿うが、頭髮の生え際の脱毛については、産毛、中間毛、髪の毛とグラデーション